

-----  
■ さろん | Mail News 2016/4/1 | #64 ■

(\*Bcc でお送りしています)

これまで「さろん」にお申込・ご参加された方にご案内しています。  
ご案内不要の方はお手数ですがこのメールにそのままご返信ください。

-----  
哲学カフェ及び関連イベント情報をお送りします。

みなさんの興味・関心の一助としていただくとともに、  
今後とも「さろん」を応援いただければ幸いです。

なお、このメールニュース掲載のコラムは執筆者の個人的な考えを表したものです。  
会や専門領域における統一見解や事象を扱っているものではありません。  
予めご了承ください。

=====Vol.64 2016年4月1日(金)=====

さ | ろ | ん |  
└ ─ ─ ─

M | a | i | l | N | e | w | s |  
└ ─ ─ ─ ─ ─ ─ ─ ─ ─

<http://salon-public.com/>

(バックナンバーはHPからご覧いただけます)

<https://twitter.com/salontetsugaku>

-----  
INDEX

- | 【1】 予約受付中：4/16 さろん哲学 第68回 テーマ：「なぜ働くのか？」
- | 【2】 予約受付中：4/14 朝さろん (58) 『硝子戸の中』 / (本棚拝見(リクエスト特集))
- | 予約受付中：4/2 夜さろん第18夜「読書会+対話；川上未映子『あこがれ』」
- | 【3】 準備中： - さろん工房
- | 【4】 開催の報告：3/19 さろん哲学 第67回 テーマ：「アクション映画の映画らしさ」
- | 【おしらせ】 さろんラボ002「哲学カフェ Ante-table」が開催されます
- | 【5】 関連イベント情報
- | 編集後記

CONTENTS

-----  
【1】 さろん哲学

第68回 テーマ：「なぜ働くのか？」  
-----

第 68 回さろん哲学を下記のテーマで開催します。

日 時：2016 年 4 月 16 日（土）15:00-17:00

テーマ：「なぜ働くのか？」

進 行：堀越

場 所：カフェ・ミヤマ 渋谷公園通り店 1 号室

<http://tabelog.com/tokyo/A1303/A130301/13094576/>

費 用：約 1,000 円

定 員：16 名

▽司会から：

働くことが好きな人。嫌いな人。人はなぜ働くのか。新年度が始まる 4 月を機に、働くことやその理由について考えてみたい。

- 会場が前回と異なりますので、ご注意ください。
- 携帯からメールを送信される場合、お返事のメールが受信できるよう、迷惑メール設定を適切にご変更願います。

ご予約を受付け中です。

[salontetsugaku@gmail.com](mailto:salontetsugaku@gmail.com) （予約担当：ヤギ林）

詳細はこちらをご覧ください。

<http://salon-public.com/tetsugaku/>

<https://twitter.com/salontetsugaku>

さろん哲学は【原則、毎月第 3 土曜】開催です

---

## —— 【 2 】 朝さろん／夜さろん ——

〈58〉『硝子戸の中』夏目漱石 / 〈本棚拝見(リクエスト特集)〉

夜さろん第 18 夜 『あこがれ』読書会 ～作品の企みと、作家・川上未映子〉

---

前回の開催報告、朝さろん〈57〉『私小説』水村美苗、参加者 6 名。

開催の記録は「朝さろんの本棚」に掲載しています。

<http://salon-public.com/archives/category/033>

### 【朝さろん】

#### ◆朝さろん 58th morning

【『硝子戸の中』夏目漱石 / 〈本棚拝見(リクエスト特集)〉】

日 時：2016 年 4 月 14 日（木）am6:50～8:00 頃

参加費：500 円（資料代等）

場 所：渋谷駅近く（ご予約時にご案内いたします）

本 　：『硝子戸の中』夏目漱石（岩波文庫）ほか

青空文庫「硝子戸の中」

定 員：8名程度（要予約）

バリスタ（進行）：芹澤

内 容：

◇漱石没後百年、最後の随筆『硝子戸の中』です。

『こゝろ』と『道草』の間に書かれた夏目漱石最後の随筆。1915年（大正4年）1月13日から2月23日にかけて39回にわたって『朝日新聞』に掲載。

◇推薦者からの推薦コメント

「『硝子戸の中』は漱石が48歳頃の随筆であり、その一生が身体面でも精神面でも病んでいるが多かった漱石にとっては、比較的穏やかな日々の中で書かれた作品です。この静かで、落ち着いた漱石も、漱石らしさが滲み出ていて、私はとても好きです。100年以上前の随筆ですので、現代の若い人からすると古色然とした内容に思うかもしれません。しかしじっくり読むと、100年前にもかかわらず現代に通ずる変わらない人間味を感じられると思います。（本間さん）」

#### ◆朝さろん 59th morning

【『沈黙』遠藤周作／〈本棚拝見(リクエスト特集)〉】

日 時：2016年5月12日（木）am6:50～8:00頃

参加費：500円（資料代等）

場 所：渋谷駅近く（ご予約時にご案内いたします）

本 　：『沈黙』遠藤周作（新潮文庫）

定 員：8名程度（要予約）

バリスタ（進行）：芹澤

内 容：

◇1966年発表、多言語に広く翻訳もされた遠藤周作の代表作。

今年スコセッシ監督による映画版も公開予定。

◇推薦者からの推薦コメント

「出会いは高校の国語の時間。それからかなりの年月が経ちましたが、この小説ほど、すごい小説にまだ出会えてません。現実の世界にはヒーローもドラえもんもいなくて、救われないことも多い。この小説の主人公も救われない状況で悩み苦しみます。そこで彼が何を見つけるのか、一緒に追いかけてみましょう。（あまざわさん）」

#### ◆朝さろん 60th morning

【『skmt 坂本龍一とは誰か』坂本龍一、後藤繁雄／〈本棚拝見(リクエスト特集)〉】

日 時：2016年6月11日（土）or 12日（日）am9:00～12:00

参加費：500円（資料代等）

場 所：渋谷駅近く（ご予約時にご案内いたします）

本 　：『skmt 坂本龍一とは誰か』坂本龍一、後藤繁雄（ちくま文庫）

定員：8名程度（要予約）

バリスタ（進行）：芹澤

内容：

◇坂本龍一は、何を感じ、どのように時代をとらえ、どこへ行こうとしているのか——。彼の感受性にぶつかるのは何であり、時事性がどのように創作へと彫琢されるのか。インタビューの達人として知られる独特編集者・後藤繁雄とともに、坂本の思考の系統樹をたどり、「時代」に解消されない独創性の秘密にせまる。インタビューにより、思考の軌跡をときあかす「反伝記」の試み。

◇推薦者からの推薦コメント

「憧れを抱く対象について“もっと知りたい”と思うのはごく自然な反応だと思う。そして大人になっても憧れを覚えるくらい魅力的な対象を持っていることは幸福なことだと思う。今回、ある具体的な憧れの対象について掘り下げながら、なにがそう思わせるのかを丁寧に考えてみたい。それはつまり、憧れとはなにかを問うことを通じて、じぶんとはなにかを知ることにはかならない。坂本龍一に憧れを抱いている或る参加者をモデルに、憧れの生成する背景とその効用を包含的に探求してみたい。（セリンジャー）」

## 【夜さろん】

### ◆第18夜

《『あこがれ』読書会 ～作品の企みと、作家・川上未映子》

日時：2016年4月2日（土）14:00～17:00

場所：渋谷の談話室を利用

定員：12名程度（要予約）

進行：芹澤

参加費：1500円（ワンドリンク＋会場利用料）

本：『あこがれ』川上未映子（新潮社、2015）

内容：

朝さろんではこれまで川上未映子の長編小説を丁寧に読んで来ました。

過去の長編はすべて会で取り上げて来たので、本作も取り上げてみています。

前回行った読書会での考察を踏まえ、さらに丁寧に作品と向き合い、

本作に仕掛けられた企みについて話し合います。

あわせて、作家・川上未映子を形勢したもの、作家としての継続的な主題は何か、

などについても自由に語り合ってみてみたいと思います。

### ▼第3長編『あこがれ』

[http://salon-public.com/wp-content/uploads/2016/01/yoru\\_hondana\\_17.pdf](http://salon-public.com/wp-content/uploads/2016/01/yoru_hondana_17.pdf)

以上、ご予約受付中です。

salontetsugaku@gmail.com（担当：芹澤）

過去の開催内容は、HPに掲載しています。

◇朝さろんの本棚

<http://salon-public.com/archives/category/033>

◇夜さろんの本棚

<http://salon-public.com/archives/category/034>

【開催概要】

《朝さろん》原則、毎月第2木曜日（但し1月は第3木曜の場合もあり）

《夜さろん》原則、2月、5月、8月、11月の第3金曜日

---

【3】さろん工房

次回イベントを準備中です

---

9月のさろん5周年を迎えるにあたり、さろん工房でもなにか新しいことができないか、と春先から志村工房長を交えて話し合いから生まれた「さろん工房β」。無事に終了しました。

さろん工房では、次回のイベントを準備中です。現在のところ不定期開催となっていますが、次回もどうぞお楽しみに。

さろん工房のアーカイブや、ご要望・リクエストはこちらで受付中です。お気軽にどうぞ。

<http://salon-public.com/koubou/>

[salontetsugaku@gmail.com](mailto:salontetsugaku@gmail.com)

<https://twitter.com/salontetsugaku>

---

【4】さろん哲学

第67回 テーマ：「アクション映画の映画らしさ」

---

第67回さろん哲学を下記テーマで開催しました。

日時：2016年3月19日（土）

テーマ：「アクション映画の映画らしさ」

進行：野田

場所：ラニカイテラス外苑前

参加者：13名

▽司会から：

映画、アクション映画の特性について、時間、ストーリー、技術、情報伝達の仕組みなど、多面的に検討しました。

これまでの開催議事録を HP にて公開しています。

詳細はこちらをご覧ください。

<http://salon-public.com/archives/category/023>

<https://twitter.com/salontetsugaku>

---

【おしらせ】

さろんラボ 002 「哲学カフェ Ante-table/アンティ-テーブル」が開催されます

---

○さろんラボ 002

「哲学カフェ Ante-table/アンティ-テーブル」(主催者：オオゼキさん)

さろんラボから新しく生まれた哲学カフェのプレカフェが先日行われました。

進行役のオオゼキさんの色がでたテーマ設定と、深く深く潜る対話となっていました。

5月にいよいよオープン1回目となります。

皆さま、ぜひ日常生活から少し離れて対話の世界に身を置いていただければと思います。

また、今後も適宜このメールニュース等で開催のお知らせをしたいと考えています。

さろんラボ コーディネーター おおむら

▽さろんラボへのご質問やお申込はこちらまで

[salontetsugaku@gmail.com](mailto:salontetsugaku@gmail.com) (担当：おおむら)

---

この度さろんラボの力を借りて、『アンティ-テーブル』という名前の

少人数の哲学カフェを立ち上げました。日常生活という舞台から降りて、

『控え室(アンティルーム)』から、演技(=思考・こころ・振る舞い)を振り返る。

そんなカフェを目指します。

初回は5月の予定です。

ご興味のある方・参加していただける方はメールまたは HP から事前にご連絡下さい。

多くの方と対話できる事を楽しみにしています。

テーマ：『嘘』と『嘘の無い世界』

日時： 2016年05月14日(土) 14:30~16:30

費用： 1000円(ハーブティ・お菓子付き)

人数： 6名程度(3名から開催)

会場：『ギャラリー冊(サツ)』併設カフェ(東京メトロ九段下駅2番出口より徒歩10分)

[http://www.satsu.jp/?page\\_id=9](http://www.satsu.jp/?page_id=9)

哲学カフェ Ante-table/アンティ-テーブル

HP : <http://ante-table.wix.com/ante-table>

email : [cafe.ante.table@gmail.com](mailto:cafe.ante.table@gmail.com)

代表 オオゼキ

---

【5】関連イベント情報

哲学カフェ関連イベントやおもしろスポット、その他おすすめ情報をご紹介します

---

---

From さろんラボ : 001

[あたまの中を散歩するてつがくカフェ] 第22回

ひとりひとりの言葉をじっくりときき、ゆっくりと考えることを大切に活動しているてつがくカフェです。

みなさんのご参加をお待ちしています。

日時 : 2016年4月3日(日) 10:00~12:00

テーマ : 「どうして知りたくなるんだろう？」

運営・進行 : くらち

会場 : 渋谷 or 新宿周辺のカフェ

定員 : 6~8名程度

参加費 : 無料

※参加には事前の申し込みが必要です

※ご都合にあわせて途中参加や途中退出をしていただいてもかまいません

※会場の詳細は参加申し込みいただいた方へご連絡します

※参加費は無料ですが、会場での飲食代実費は各自ご負担ください

ウェブサイト

<http://sanpo-tetsugaku.jimdo.com/>

ツイッター

[https://twitter.com/sanpo\\_tetsugaku/](https://twitter.com/sanpo_tetsugaku/)

お申込み・ご質問

[sanpo.tetsugaku@gmail.com](mailto:sanpo.tetsugaku@gmail.com) (くらち)

---

From さろんラボ : 002

[哲学カフェ Ante-table/アンティ-テーブル]

テーマ : 『嘘』と『嘘の無い世界』

日 時： 2016年05月14日（土）14:30～16:30  
費 用： 1000円（ハーブティ・お菓子付き）  
人 数： 6名程度(3名から開催)  
会 場：『ギャラリー冊(サツ)』併設カフェ  
（東京メトロ九段下駅2番出口より徒歩10分）  
[http://www.satsu.jp/?page\\_id=9](http://www.satsu.jp/?page_id=9)

哲学カフェ Ante-table/アンティ-テーブル  
HP：<http://ante-table.wix.com/ante-table>  
email：[cafe.ante.table@gmail.com](mailto:cafe.ante.table@gmail.com)  
代表 オオゼキ

-----  
(一覧になっているもの)

▽首都圏哲学関連イベントまとめサイト

<http://tokyotetsugakumatome.g.hatena.ne.jp/>

▽もっと自由に「てつがく」したい！対話がメインな東京の哲学カフェまとめ

<http://matome.naver.jp/odai/2136167936080093501>

▽全国各地の哲学カフェ

<http://matome.naver.jp/odai/2138543414370880601>

▽東京で行われている読書会まとめ

<http://matome.naver.jp/odai/2135489489421994201>

▽哲学カフェ一覧

<http://seesaawiki.jp/dialogue/d/%c5%af%b3%d8%a5%ab%a5%d5%a5%a7%b0%ec%cd%f7>

-----  
▽哲学プラクティス連絡会

<http://philosophicalpractice.jp/>

▽カフェフィロ

<http://www.cafephilo.jp/>

▽第23回人生カフェ

日時：平成28年4月9日（土） 13時30分～17時  
場所：新宿区戸塚地域センター（高田馬場駅から徒歩2分）

<http://www.tcc-tokyo.net/>

参加費用：500円



テーマ：「人生の意味とは何か」

事前予約： メールで本間まで [mgasami.honma@gmail.com](mailto:mgasami.honma@gmail.com)

定員： 12名

詳細： 詳しくは「人生カフェ」で検索を。

<http://tokyojinseigakuin.cocolog-nifty.com/blog/>

#### ▽第24回人生カフェ

日時：平成28年4月23日（土） 13時30分～17時

場所： 新宿区戸塚地域センター（高田馬場駅から徒歩2分）

<http://www.tcc-tokyo.net/>

参加費用： 500円

テーマ：当日に参加者で対話のテーマを決めます。

事前予約： メールで本間まで [mgasami.honma@gmail.com](mailto:mgasami.honma@gmail.com)

定員： 12名

詳細： 詳しくは「人生カフェ」で検索を。

<http://tokyojinseigakuin.cocolog-nifty.com/blog/>

#### ▽ねりまの哲学対話 “ねりテツ”

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://msentalife.wix.com/entalife#!blank/cpu9>

#### ▽NPO 法人子ども哲学おとな哲学アーダコーダ

<http://ardacoda.com/>

#### ▽Core Talk Cafe おとなのためのてつがくカフェ

<http://www.coretalkcafe.jp/index.html>

#### ▽てつがくカフェ@せんだい

<http://tetsugaku.masa-mune.jp/>

#### ▽東日本大震災を〈考える〉ナースの会

<http://nurse311.blog.fc2.com/>

#### ▽てつがくカフェ@せんだい×とうきょう

<http://sendaixtokyo.jimdo.com/>

#### ▽小金井哲学カフェ

<http://koganei-philosophycafe.blogspot.jp/>

#### ▽西千葉・Moonlight Bookstore 哲学カフェ

<https://www.facebook.com/events/1160952653932415/>

▽現代哲学ラボ

<http://www.philosophyoflife.org/jp/lab/>

▽高千穂大学哲学研究会パイディア

<https://paideiatakachihophilosophy.wordpress.com/>

▽UTCP (東京大学大学院総合文化研究科・教養学部附属「共生のための国際哲学研究センター」)

<http://utcp.c.u-tokyo.ac.jp/>

▽P4C-japan

<http://p4c-japan.com/>

▽〈長池講義〉柄谷行人

<http://web.nagaike-lecture.com/>

▽クラリスブックスの読書会 | 東京下北沢の古本屋

<http://blog.clarisbooks.com/2014/07/15/2696>

▽読書会ガイブンキョウク

<https://twitter.com/gaibunkyoku>

▽京都・大阪市民読書会

<http://kyotobookclub.blog.fc2.com/>

▽村上春樹の読書会 (Haruki.B.C)

[http://mixi.jp/view\\_community.pl?id=3169098](http://mixi.jp/view_community.pl?id=3169098)

▽交換読書会@東京

<http://dokusyokai.com/>

▽横浜読書会

<http://kuribooks.com/>

▽大人のための子どもの本の読書会

<http://booksheepbook.hatenablog.com>

▽『史上最強の哲学入門』 飲茶 ●740円

<http://www.kawade.co.jp/np/isbn/9784309414133/>

▽分析美学ってどういう学問なんですか——日本の若手美学者からの現状報告

<http://synodos.jp/culture/16122>

- ▽「哲学入門」藤本隆志（東京大学出版会、1990）  
<http://www.amazon.co.jp/dp/4130120506>
- ▽岸政彦『断片的なものの社会学』（朝日出版社）  
[http://www.asahipress.com/bookdetail\\_norm/9784255008516/](http://www.asahipress.com/bookdetail_norm/9784255008516/)
- ▽「今度こそわかる論理 数理論理学はなぜわかりにくいのか」本橋信義（講談社、2014）  
<http://www.amazon.co.jp/gp/product/4061566067>
- ▽あふれる「境界」の狭間を広げる対話とは？—「東京迂回路研究」の実践  
<http://m.huffpost.com/jp/entry/8959388>
- ▽「丸山眞男」をひっぱたきたい  
<http://t-job.vis.ne.jp/base/maruyama.html>
- ▽おへそ保育園「こども哲学」レポートブログ  
<https://kodomotetugakuacademy.amebaownd.com/>
- ▽「保育園落ちた日本死ね」と叫んだ人に伝えたい、保育園が増えない理由  
<http://www.komazaki.net/activity/2016/02/004774.html>
- ▽保育園に落ちた日のこと  
[http://business.nikkeibp.co.jp/atcl/opinion/15/174784/031000035/?n\\_cid=nbpnbo\\_fbbn&ST=smart](http://business.nikkeibp.co.jp/atcl/opinion/15/174784/031000035/?n_cid=nbpnbo_fbbn&ST=smart)
- ▽わたし、想像以上に、しんどい。これで伝わる！妻から夫への『大変さ』の伝え方  
<http://akasugu.fcarts.jp/taikenki/entry/2016/02/10/special0170>
- ▽Like A Silicon Valley — 家族がいる起業家の働き方  
<http://likeasiliconvalley.tumblr.com/post/122075041153/%E5%AE%B6%E6%97%8F%E3%81%8C%E3%81%84%E3%82%8B%E8%B5%B7%E6%A5%AD%E5%AE%B6%E3%81%AE%E5%83%8D%E3%81%8D%E6%96%B9>
- ▽VERY 妻になりたかった母の死から学んだこと | AM「アム」  
<http://am-our.com/love/218/12903/>
- ▽そうか、女の人ってこういう経緯でスピリチュアルにハマるのか  
『更級日記』『竹取物語』が凄すぎる  
<http://a.excite.co.jp/News/reviewbook/20160116/E1452878427217.html>
- ▽李珍景 影本剛訳『不穏なるものの存在論』（インパクト出版会）  
<http://bit.ly/1PnNPbd>

▽レクチャー「栄養と行動」

<https://www.youtube.com/watch?v=ZUsC1h06OJ0>

▽生きるアシスト.com - 命を考える・応援する情報サイト

<http://ikiruassist.com/>

▽銭湯に図書館

<https://www.facebook.com/events/1098464570175503/>

▽面白い本屋さん特集

<https://metimes.jp/articles-117>

---

## 編集後記

メールニュース第 64 号をお届けします。

ことしの桜も盛りを迎えようとしていますが、いよいよ新年度ですね。  
2016 年度のスタート、みなさまことしはどこで迎えているでしょうか。

スマホの画面で、PC のブラウザで、あるいはタブレットで、  
このメールニュースをご覧いただいていることと思います。  
四月を歩きはじめるみなさまの傍らのこの場所から、今年度もいろいろなニュースをお届けしていきます。  
どうぞご愛顧ください。

さろんでは Twitter でも好評つばやき中です。ぜひこちらもチェックしてみてください。

<https://twitter.com/salontetsugaku/>

また過去のイベントのアーカイブも HP に掲載中です。

初見の方はもちろん、再読の方にも、発見があるとおもいますよ♪

・さろん哲学

<http://salon-public.com/archives/category/023>

・朝さろん

<http://salon-public.com/archives/category/033>

・メールニュース バックナンバー

<http://salon-public.com/?s=%E3%83%A1%E3%83%BC%E3%83%AB%E3%83%8B%E3%83%A5%E3%83%BC%E3%82%B9>

最近さろんのショップカード（名刺）がリニューアルしました！  
各イベントなどでのご紹介はもちろん、設置可能な場所を見つけて積極的に広報していこうとおもっています。  
いい場所があればぜひおしえてください。

それではまた次号でお会いしましょう。  
編集：(ミミズク)

さろん | Mail News 2016/4/1  
⇒次号（4月15日発行予定）

---

---

さろん Mail News 第64号 / 2016年4月1日発行  
編集・発行：さろん  
[salontetsugaku@gmail.com](mailto:salontetsugaku@gmail.com)  
<http://salon-public.com/>  
<https://twitter.com/salontetsugaku/>

---

- ◇「さろん」にお知らせいただいたお名前・メールアドレスなどの個人情報は、当会からのご案内のためだけに使用いたします。  
また、ご本人の同意なく第三者への提供はいたしません。
- ◇「Mail News」の無断転載はご遠慮ください。転載ご希望の場合はご連絡願います。  
バックナンバーはHPからご覧いただけます。
- ◇【さろんツイッター】 <https://twitter.com/salontetsugaku>
- ◇【さろんパブリック】 <http://salon-public.com/>  
「さろん哲学」Web サイト <http://salon-public.com/tetsugaku/>  
「朝さろん」 Web サイト <http://salon-public.com/asa/>  
「さろん工房」Web サイト <http://salon-public.com/koubou/>

"copyright (c) 2011-2016 さろん. All rights reserved."

---



"copyright (c) 2011-2016 さろん. All rights reserved."

---